

## 第6章 国民健康保険及び後期高齢者医療保険診療報酬明細書（レセプト）調査

### 1 国民健康保険及び後期高齢者医療保険診療報酬明細書（レセプト）調査（概要）

#### （1）調査目的

国民健康保険及び後期高齢者医療保険診療報酬明細書（レセプト）調査は、区民の受診動向等を把握し、医療環境充実に向けた検討をするための基礎資料とすることを目的として実施したものである。

#### （2）調査対象

保険種別	国民健康保険	後期高齢者医療保険
項目	入院・外来の別、住所地、生年月、性別、傷病名、医療機関名、医療機関所在地	入院・外来の別、性別、傷病名、医療機関名、医療機関所在地
期間	平成24年6月1日～平成24年6月30日	
被保険者数	139,746人	46,125人
件数	外来	451,627件
	入院	10,906件
	合計	462,533件
		67,644件
		2,367件
		70,011件

注1；被保険者数は平成24年6月末日時点

【参考】平成24年7月1日時点の住民基本台帳による本区の人口：448,343人（外国人登録人口(14,173人)を含む。）

#### （3）データの留意点

国民健康保険の診療報酬明細書（レセプト）データは葛飾区国保年金課から、後期高齢者医療保険の診療報酬明細書（レセプト）データは東京都後期高齢者医療広域連合から提供を受けたものである。

なお、提供元の違いから、データの構成にも違いが見られる。

ひとつの診療報酬明細書（レセプト）内に複数の傷病名の記載があった場合、それらの傷病1件1件を個別に登録しているのが国民健康保険のデータであり、ひとつの診療報酬明細書（レセプト）内に複数の傷病名の記載があっても、まとめて1件として登録しているのが後期高齢者医療保険のデータである。

また、後期高齢者医療保険のデータは、住所地及び生年月の提供を受けていない。そのため、集計上、被保険者の住所地はすべて不明とし、年齢は75歳以上で統一した。

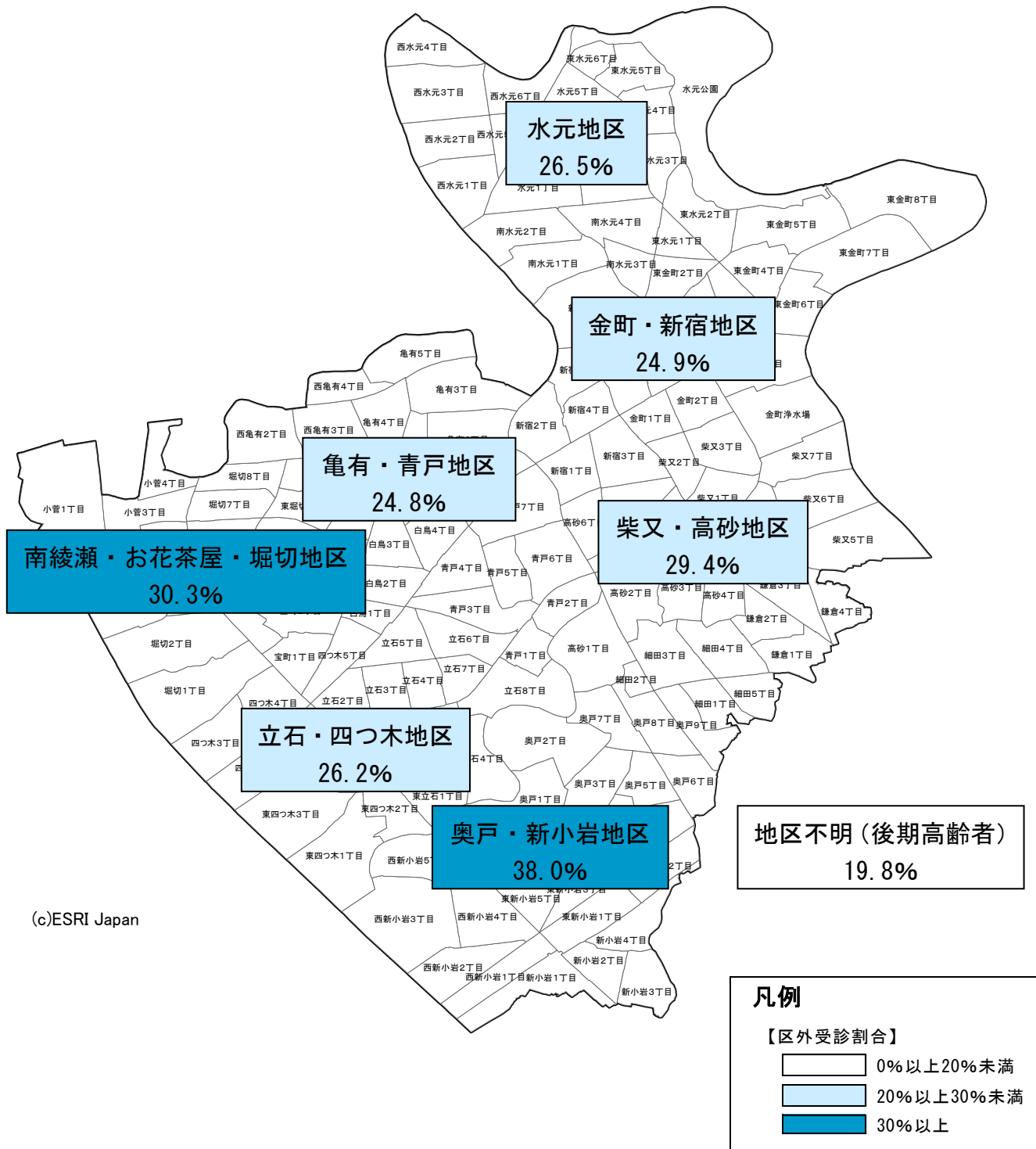
### 2 調査結果（概要）

以下の調査結果は概要である。本調査では、患者の受診動向について、地区別、年齢階層別でも分析しているので、こちらについては「資料編」を参照されたい。

(1) 患者の居住地区別区外受診割合 (※国保+後期、平成24年6月分)

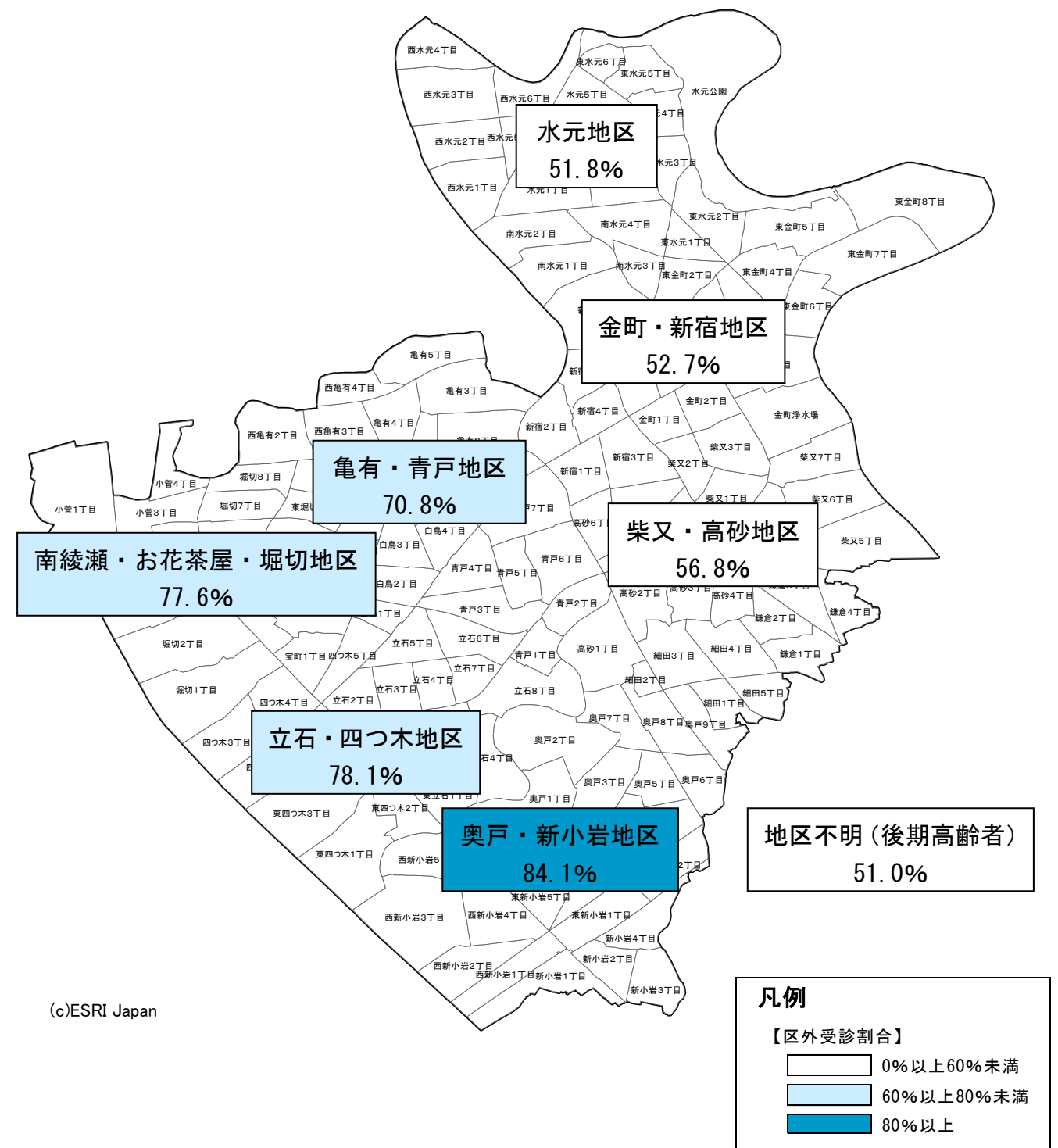
ア 外来

外来で区外受診割合の最も高い地区は、奥戸・新小岩地区である (38.0%)。



イ 入院

入院で区外受診割合の最も高い地区は、奥戸・新小岩地区である (84.1%)。立石・四つ木地区 (78.1%)、南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 (77.6%) の区外受診割合も高い。



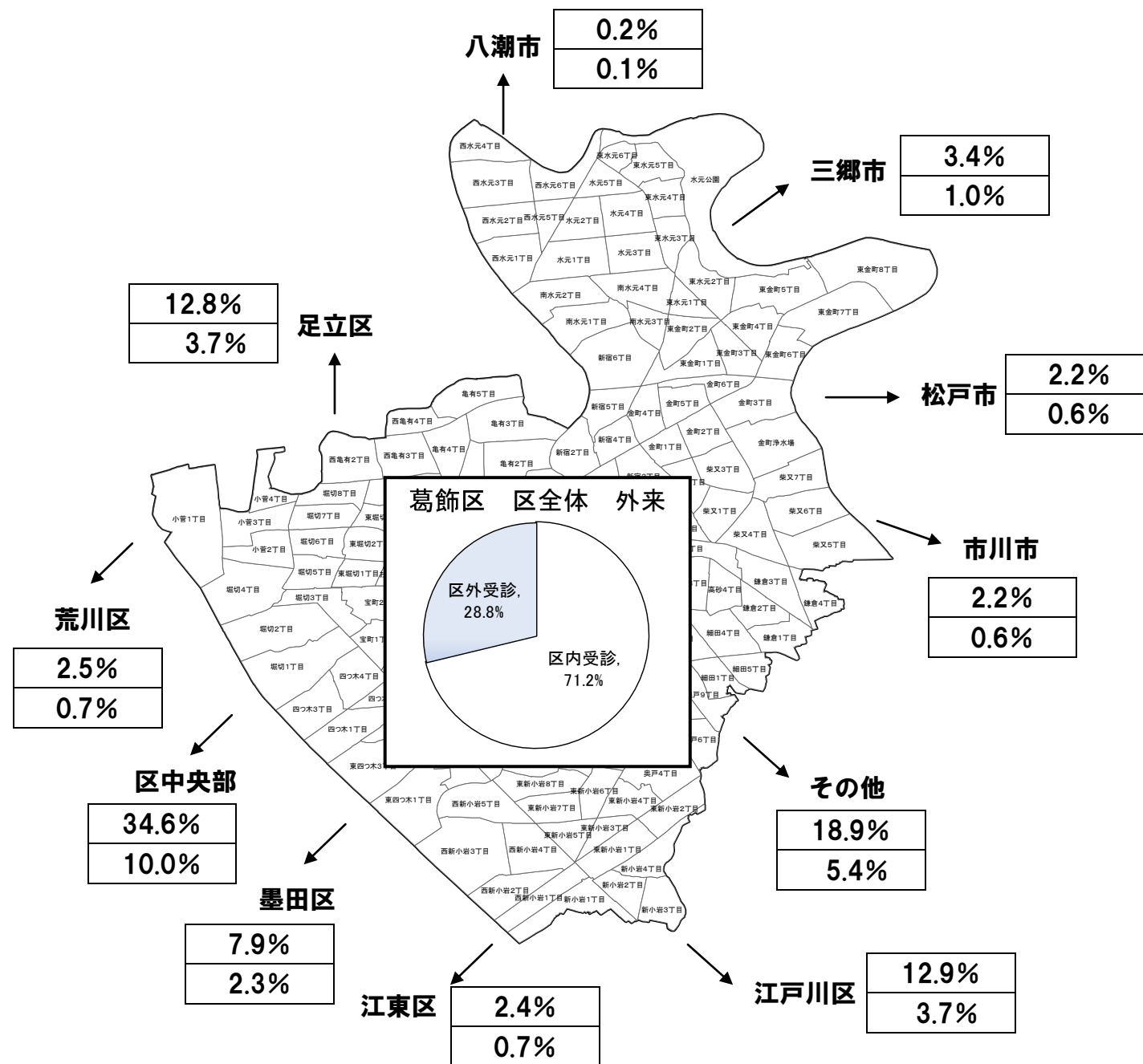
(2) 患者の区外受診動向（※国保のみ、平成 24 年 6 月分）

ア 外来

外来の区外受診のうち、最も高い割合を占めているのは区中央部である（34.6%）。

<凡例>

上段：区外受診のうち、当該地域の占める割合
下段：受診全体のうち、当該地域の占める割合



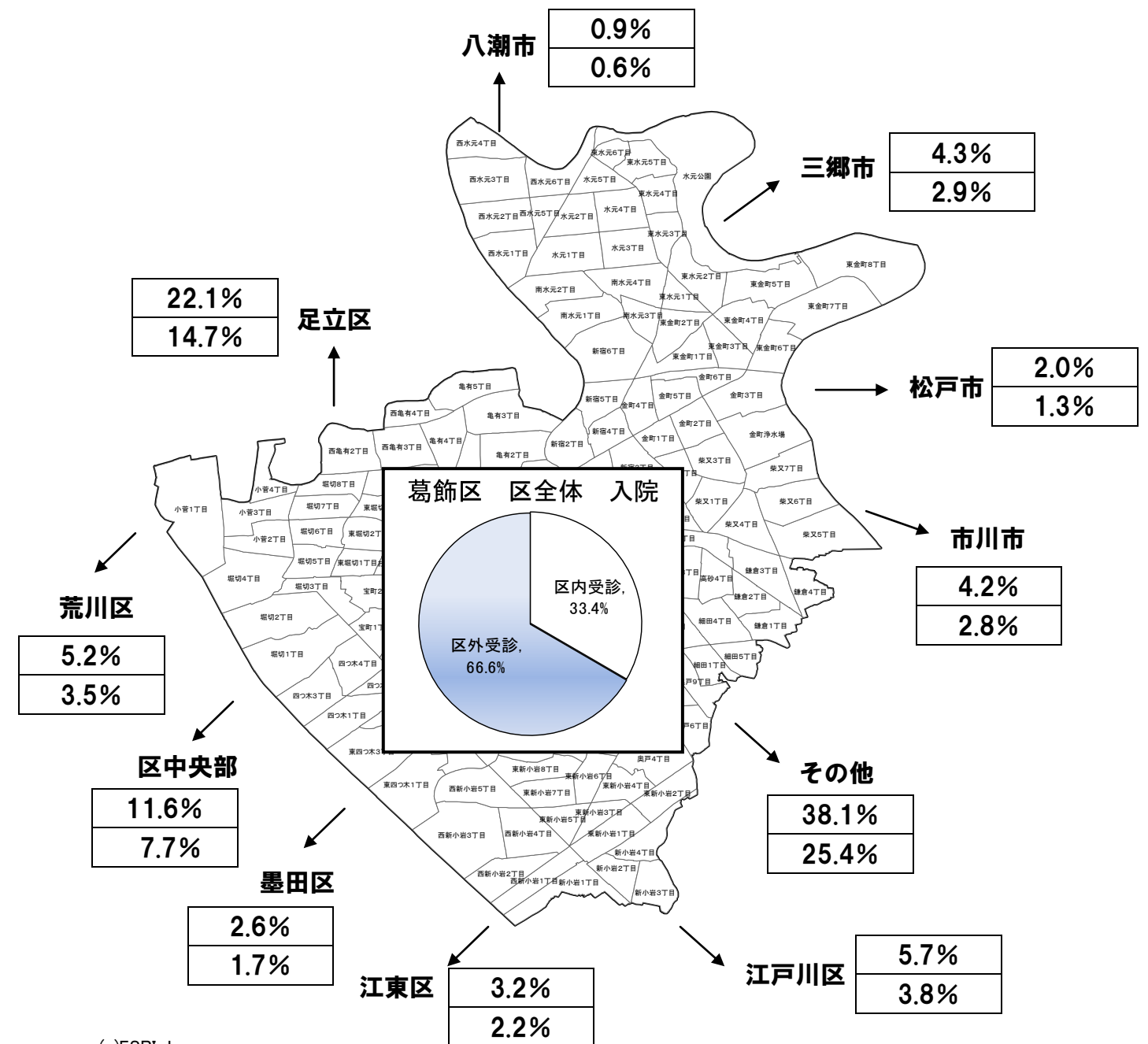
(c)ESRI Japan

イ 入院

入院の区外受診のうち、その他を除き最も高い割合を占めているのは足立区である（22.1%）。

<凡例>

上段：区外受診のうち、当該地域の占める割合
下段：受診全体のうち、当該地域の占める割合

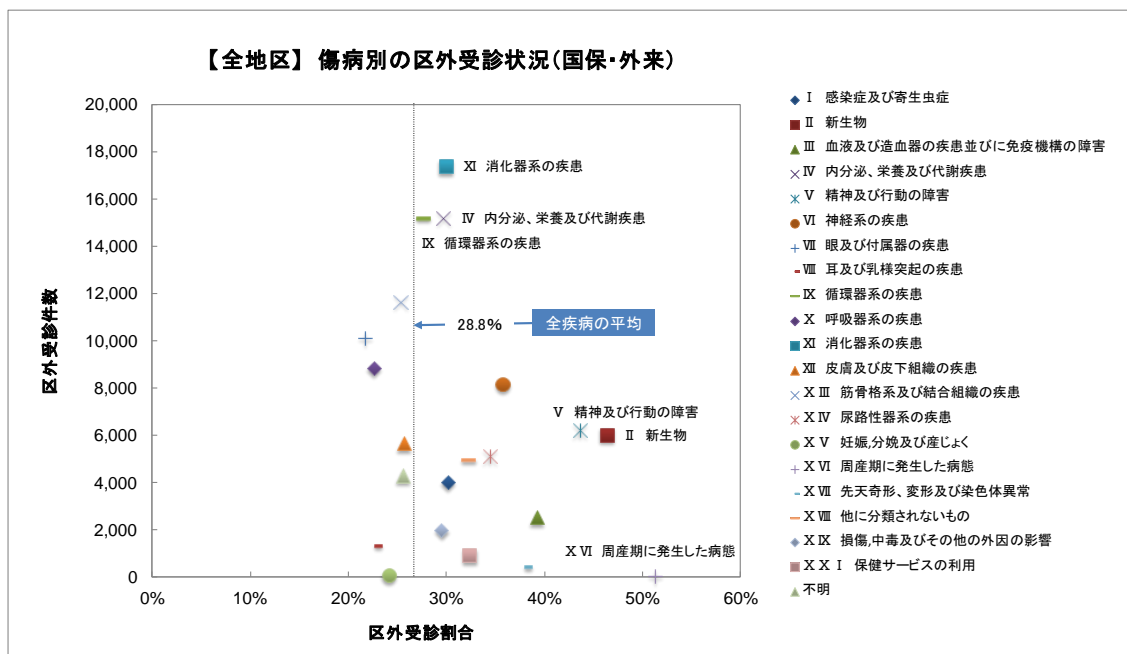


(c)ESRI Japan

### (3) 傷病別の区外受診状況 (※国保のみ)

#### ア 外来

消化器系の疾患 (17,378 人)、循環器系の疾患 (15,204 人)、内分泌・栄養及び代謝疾患 (15,183 人) の区外の受診件数が多く、この3つで4割近くを占めている。また、周産期に発生した病態 (51.3%)、新生物 (46.3%)、精神及び行動の障害 (43.6%) の区外の受診割合が高い。

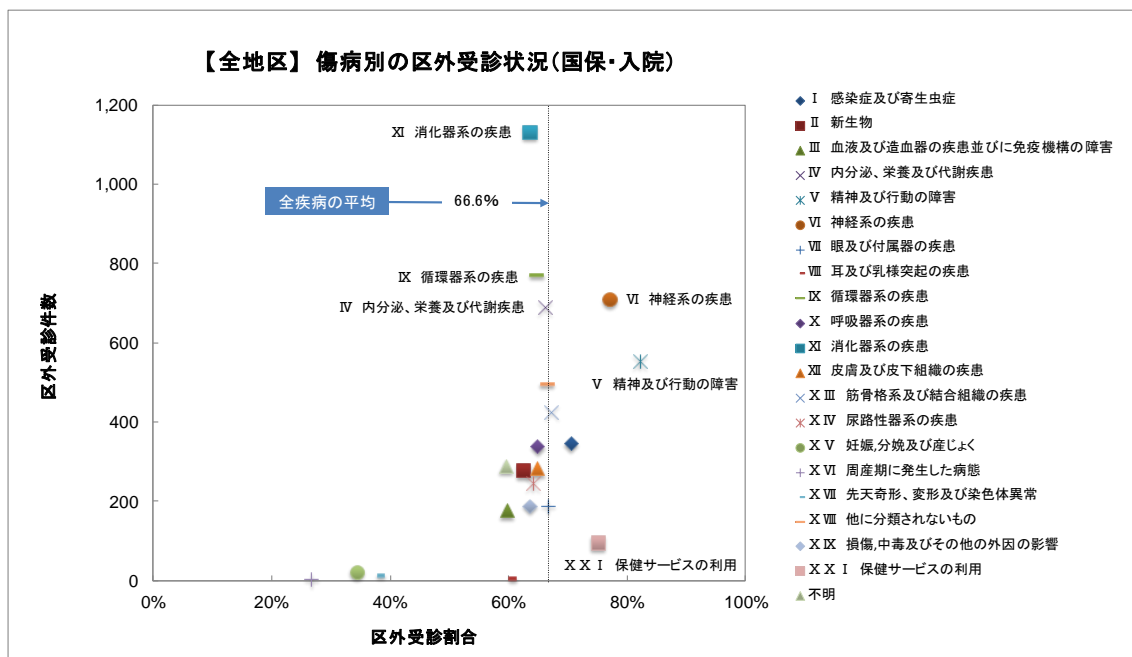


【全地区 (国保)】

	合計		外来			
	件数	割合	うち区内受診		うち区外受診	
			件数	割合	件数	割合
I 感染症及び寄生虫症	13,364	3.0%	9,334	69.8%	4,030	30.2%
II 新生物	12,964	2.9%	6,966	53.7%	5,998	46.3%
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6,456	1.4%	3,924	60.8%	2,532	39.2%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	51,190	11.3%	36,007	70.3%	15,183	29.7%
V 精神及び行動の障害	14,227	3.2%	8,023	56.4%	6,204	43.6%
VI 神経系の疾患	22,869	5.1%	14,706	64.3%	8,163	35.7%
VII 眼及び付属器の疾患	46,611	10.3%	36,503	78.3%	10,108	21.7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5,905	1.3%	4,565	77.3%	1,340	22.7%
IX 循環器系の疾患	55,142	12.2%	39,938	72.4%	15,204	27.6%
X 呼吸器系の疾患	39,077	8.7%	30,247	77.4%	8,830	22.6%
XI 消化器系の疾患	58,092	12.9%	40,714	70.1%	17,378	29.9%
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	21,995	4.9%	16,359	74.4%	5,636	25.6%
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	45,986	10.2%	34,341	74.7%	11,645	25.3%
XIV 泌尿器系の疾患	14,793	3.3%	9,699	65.6%	5,094	34.4%
XV 妊娠、分娩及び産じょく	315	0.1%	239	75.9%	76	24.1%
XVI 周産期に発生した病態	39	0.0%	19	48.7%	20	51.3%
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	1,073	0.2%	665	62.0%	408	38.0%
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,358	3.4%	10,409	67.8%	4,949	32.2%
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6,608	1.5%	4,659	70.5%	1,949	29.5%
XX I 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	2,797	0.6%	1,893	67.7%	904	32.3%
不明	16,766	3.7%	12,496	74.5%	4,270	25.5%
合計	451,627	100.0%	321,706	71.2%	129,921	28.8%

## イ 入院

消化器系の疾患（1,132人）、循環器系の疾患（773人）、神経系の疾患（710人）、内分泌・栄養及び代謝疾患（690人）の区外の受診件数が多く、この4つで4割以上を占めている。また、精神及び行動の障害（82.2%）、神経系の疾患（76.9%）、健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用（75.0%）の区外の受診割合が高い。



【全地区(国保)】

	合計		入院			
	件数	割合	うち区内受診 件数	割合	うち区外受診 件数	割合
I 感染症及び寄生虫症	492	4.5%	145	29.5%	347	70.5%
II 新生物	447	4.1%	168	37.6%	279	62.4%
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	298	2.7%	120	40.3%	178	59.7%
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	1,045	9.6%	355	34.0%	690	66.0%
V 精神及び行動の障害	674	6.2%	120	17.8%	554	82.2%
VI 神経系の疾患	923	8.5%	213	23.1%	710	76.9%
VII 眼及び付属器の疾患	285	2.6%	95	33.3%	190	66.7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	10	0.1%	4	40.0%	6	60.0%
IX 循環器系の疾患	1,196	11.0%	423	35.4%	773	64.6%
X 呼吸器系の疾患	525	4.8%	185	35.2%	340	64.8%
XI 消化器系の疾患	1,782	16.3%	650	36.5%	1,132	63.5%
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	437	4.0%	154	35.2%	283	64.8%
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	633	5.8%	208	32.9%	425	67.1%
XIV 泌尿器系の疾患	382	3.5%	137	35.9%	245	64.1%
XV 妊娠、分娩及び産じょく	64	0.6%	42	65.6%	22	34.4%
XVI 周産期に発生した病態	15	0.1%	11	73.3%	4	26.7%
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	37	0.3%	23	62.2%	14	37.8%
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	748	6.9%	251	33.6%	497	66.4%
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	299	2.7%	109	36.5%	190	63.5%
XX I 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	128	1.2%	32	25.0%	96	75.0%
不明	486	4.5%	197	40.5%	289	59.5%
合計	10,906	100.0%	3,642	33.4%	7,264	66.6%

#### (4) 調査結果のまとめ

◆ 患者の居住地区別区外受診割合

⇒ 外来・入院とも、地区によって区外受診割合に大きな違いが見られる。

◆ 傷病分類別区外受診動向

⇒ 外来・入院とも、傷病分類によって区外受診件数・割合に大きな違いが見られる。